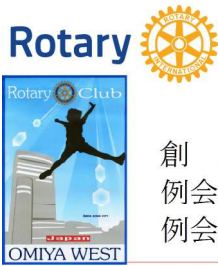


# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2015～2016年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 田口 修身	第2450例会	2015/11/ 9
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 小木曾賢己	発 行 日	2015/12/ 7
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 藤嶋 剛史	会報当番	村山 大

## 会長あいさつ

会長 田口 修身

皆さんこんにちは。11月になり今年も残り少なくなってきました。私はサッカーを良く見て地元の大宮アルディージャを応援しています。会員会社にはスポンサーになっている会社が多くあると思います。この時期には昇格降格が決まってきます。去年はアルディージャがJ2に降格してしまい残念な思いをしました。



藤池さんの奥さんとJ2なら勝ち試合がたくさん見られるわよ、と話していたとおり、今年は前半から好調で早々に昇格・優勝が決まると思っていたのですが終盤になり勢いがなくなってしまいました。追ってくるジュピロ磐田、アビスパ福岡がそれぞれここ5試合で4勝1分け、5勝無敗と全く負けません。9月の大宮ロータリーの60周年チャリティゴルフでアルディージャの鈴木社長が残り8試合で4勝はしたいと言っていました、あれから1つしか勝っていません。残り二試合で優勝・自動昇格が決まりますが勢いが無いのでははらしながら見なければならなくなりました。

今日は、ハウスメンテみやびの酒井さんの入会式があります。これで96名になりました。仲間が増えることはとても嬉しいことです。会員の皆さん一人ひとりがこれからも会員増強よろしくお祈りします。

来週は2770地区の地区大会です。14日がロイヤルパインズホテル、15日が南浦和の文化センターです。出席される方はよろしくお祈りします。今日は、ロータリーの友の解説があります。先日の「ピンクリボン運動」について高橋委員長よりロータリーの友への投稿の用意をしていただきました。2、3ヵ月後に掲載されることを楽しみにしています。

今日も盛りだくさんですが皆さんよろしくお祈りします。

## お客様ご紹介 中村雅之 副会長

一般社団法人障害者スキー振興協会

代表理事 津川朋也 様

有限会社ハウスメンテみやび

酒井一成 様

米山記念奨学生

潘 威 君

## 米山記念奨学生

潘 威 君



## 入会式

### ☆入会者 酒井一成様ご紹介

清水恒信 会員

酒井一成さんをご紹介いたします。お歳は43歳、会社は有限会社ハウスメンテみやびと云いましてさいたま市北区宮原で建設業をされております。代表取締役でいらっしゃいます。お住まいも同じく北区日進町2丁目で、ご家族は奥様とご長女の3人家族です。ご趣味は旅行ということで。どうぞ皆様宜しくお祈り致します。

### ☆入会者ご挨拶

有限会社ハウスメンテみやび  
酒井一成 様



この度、歴史ある大宮西ロータリークラブに、清水様よりご推薦頂き、錚々たるメンバーの皆様を前に、誠に恐縮ながら入会させて頂く事にいたしました。

ロータリークラブがモットーとする「思いやりの心」は、私も会社を運営する中、常に心がけとして参りました。今後はロータリーの一人として、名に恥じぬよう、地域・社会と広い視野で、奉仕活動に参加させて頂ければ幸いです。若輩者

# 積極参加でロータリーを楽しもう！

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



ではありますが、皆様にご指導賜りたく何卒宜しくお願い致します。私事ではありますが、今年6月に会社を大宮区三橋から北区宮原町に建設、移転致しました。心機一転、地元を根をおろし、地域の皆様に愛される会社を目指し、精進して参る所存です。思いやり、協力、助け合いは設立から社訓としており、ロータリークラブの目的と共に地元の皆様に貢献していければと思っております。



会長からバッジを付けて頂く酒井一成新会員



左から田口修身会長、酒井一成新会員、紹介者の清水恒信会員

## 幹事報告

幹事 小木曾賢己



- 1、地区大会が11月14日と15日に行われます。当日使用する名札は、各自でお持ちいただくようお願いいたします。又大会会場には地区の受付付近に、事務局の大島さんに居てもらいます。大会資料をお受け取りいただき、クラブでまとまって座る場所を確認してください。
- 2、地区大会において、長寿会員として「大竹庄藏会員」永年在籍会員として「関根政勝会員」「大竹庄藏会員」「林正会員」の方々が表彰されます。会員の皆様には精一杯のお祝いをお願いします。
- 3、RLIのパートⅢが12月12日(土)に行われます。受講中のみなさんよろしくお祈りいたします。
- 4、今月の例会ですがこの会場での例会は今日で最後、16日は地区大会の振り替えて休会、23日は祭日の為休会、そして29日と30日は親睦旅行例会となります。

## 委員長報告

親睦委員会  
染谷義一 委員長



11月29日、30日の親睦旅行のしおりを配らせて頂きました。8時20分集合です。お間違いのないようお願い致します。

社会奉仕委員会  
高橋秀樹 委員長



10/31ピンクリボンライトアップの活動の様子を週報に掲載していますのでご覧ください。又11/1埼玉新聞で紹介されましたのでその記事も配布しました。大宮ろう学園「のぼら祭」のバザーの収益金が84,500円になったと連絡がありました。この収益金は部活の遠征費用等に活用さ

れるとのこと。皆様にはバザー品をたくさんご提供いただきまして心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

腎・アイバンク」の会報をお配りしています。臓器・角膜提供の登録ではなく、協会の活動に対し、お一人1,000円の協賛金をお願いします。

⇒ 26名(26,000円)の方に協賛いただきました。ありがとうございました。

会員増強維持部門委員会  
高橋誠一 委員長



会員増強維持部門長の高橋です。今、会員拡大に力を入れています。今100人までは見えています。銀行は入っていないので、是非銀行に入って頂きたいので声を掛けています。埼玉りそな銀行、埼玉信、三菱UFJ、三井住友、みずほ銀行、群馬銀行と八十二銀行にはこれからお願いしていきます。

12月までに120名を目標にしています。会員の皆様には、是非1人の紹介をお願いしたいと思えます。出来るだけ早くのご紹介をお願いします。

関根正美 会員



11/13(金)自衛隊の音楽祭が日本武道館であります。チケットが4枚ありますのでご希望の方は私までお申し出ください。

## ロータリーの友

広報・雑誌委員会  
井上勝美 委員長



P3 RI会長 KRラヴィンドラン

メッセージ 平和をもって暴力と戦う

1991年6月国防省作戦司令部にて車両爆破自爆がありテロ死者21人、負傷者175人の惨事となり1km以上離れた自宅の全ての窓ガラスが粉々に割れた

今日スリランカは平和で繁栄し毎年200万人以上が観光に訪れています。内戦は過去の記憶になりましたが世界には今日多くの国が紛争、戦争、暴力で家を失った人が5950万人。ロータリー平和フェローによる活動でロータリー財団の支援を通じて行っております。私たちは暴力で暴力に立ち向かうことはできません。教育理解そして平和という武器をもって戦うとき世界へのプレゼントとなれるのです。

P7 私たちのロータリー財団 P8ロータリー財団補助金さまざまな活用例

名古屋北RCカンボジア水施設を整備 P9川口西RCブラジルの病院にやけど治療器を寄贈 P10西那須野RC台湾山岳地住民に無料健康診断と健康管理教育 P11市原中央RCインドネシアに水道整備と衛星設備を建設

P12~15 ポリオ撲滅へのロータリーの軌跡



P16~21 姉妹クラブ・友好クラブ さらなる交流と親睦

P22国際大会の記事

P28ワールドラウンドアップ 世界のロータリーニュース

縦書きP4 政策研究大学院教授 大塚啓次郎 なぜ貧しい国はなくなるのか 正しい開発戦略を考える

P9わがまちそしてロータリー 三重県志摩市

P13友愛の広場 P19の徳川家康に学ぶ長寿の秘けつ

P20卓話の泉 こし館の話 献血の現状 チョウとホテル

P24ロータリーアットワーク 各地区RCの記事

※ピンクリボン運動の記事を投稿しました。

## ゲスト卓話

一般社団法人障害者振興協会  
代表理事 津川朋也 様



みなさんこんにちは、障害者スキー振興協会の津川です。今回は、再度、器具の説明、活動の報告、ご支援のお礼をお伝えにきました。スライドでお伝えしたいと思います。器具はあちらに展示していますので、閉会后にどうぞご覧ください。この写真ですが、先シーズンの一番お気に入りの写真です。長野県の梅池スキー学校でのレッスン風景です。午前中は一番下のゆるやかな斜面で練習をし、午後一番でリフトを5本乗り継ぎ、このスキー場で一番の高い、1,704mの場所です。女の子の真剣な表情、そして、右後ろにいるご両親の嬉しそうな表情。ゴーグルをしています、ご両親ともに白い歯が見えるかと思えます。この写真の親子のような笑顔をたくさんのスキー場で見たい。これが当協会の目標です。このような受け入れ環境を整えるために必要な要素は、大きく2つです。たくさんの障害に応じた器具をそろえる事と、どのような障害でも対応できるスキー指導者を増やす事です。

まず、器具の説明からします。はじめは、スキーブラです。つぎは、アウトリガーです。(中略) つぎは、バイスキーです。(中略) さて、これらを使用しレッスンを行いますが、使いこなすのは、とても難しく、本当に高度なスキー技術が必要です。それを持ち合わせているのはスキースクールのインストラクターです。スクールは

- ・ゲレンデをくまなく知り尽くし、障害や技術に応じた斜面を選択できる事。
- ・リフト係、パトロールなどとの連携が図られている事。
- ・何より、そのスキー場の魅力を一番よく知っている事。伝える事ができる事。

という魅力を持っています。しかし、いざ導入するとなると難色を示されます。その理由は『障害者スキーの器具や滑りを知らない。私たちにできるか分からない』という事です。そこで、当協会ではいくつかのステップを経て、受入れ準備をすすめています。梅池での受け入れ準備を説明します。2012年から

2015年まで、実に4シーズンかけて受け入れ準備をすすめてきました。初年度2012シーズンは、スクールだけでなくパトロールやリフト係などのスキー場関係者、宿泊施設の方、地元の社会福祉協議会の方々を招いて、障害者スキー体験会を行いました。その後、本格的に受け入れ準備を進めていきたいという事で、2013シーズンに第一回指導者講習会を行いました。まず初めは、今後受け入れの中心になる6名に参加いただき、もう一度器具に触れ、実際にバイスキーなどの操作をしてもらい、自分たちでもできるという事を再確認してもらいました。夕方には、他のレッスンを終えたイントラが集まり、スクール全体で受け入れていく、というムードを作る事ができました。第二回の講習会では、脳性麻痺や下肢の切断などの障害についての講義をし、スキー指導の上で必要な知識も伝えていきました。午後は、脳性麻痺と切断を想定し、スキーブラとアウトリガーを使用した講習を行いました。2014シーズンに第三回目の講習会です。下肢の麻痺や視覚障害についての講義とともに、車椅子の操作や介助方法、視覚障害者の誘導方法も行いました。実際に雪の斜面の上で車椅子の介助をする事は、タイヤが雪に埋もれ本当に難しい事でしたが、いつも雪の上で生活している人たちです、しっかり足場を作り安全に行う事ができました。午後は、バイスキーの指導方法と、視覚障害者に対する指導方法を伝えました。第4回目の講習会では実際に障害がある人を3名招いての模擬レッスン形式としました。3名ともにスキー経験者で、ダウン症、脳性麻痺、視覚障害の方を招き、2日間の講習会です。初日の朝に私が感じた事は、インストラクターの不安な表情です。スキー指導歴10年を超え数百人、数千人に指導してきた方ばかりでしたが、やはり健常者とは違った難しさを感じたようです。ですが、二日間を終えて、イントラの表情は、不安から自信に変わった事を確信しました。本当に心強く感じた瞬間でした。

2015シーズンの講習会です。座って滑るバイスキーの講習を、脳性麻痺の2名に参加していただき、講習を進めました。イントラ同士では、何度もリフト乗車やロープ操作による滑走は行いましたが、アウトリガーの操作や重心の移動など、身体のどこを使えるのか、どこは使えないのか、一つずつ確認し講習会を進めました。ここまで準備をして、ようやくレッスンの受け入れです。その結果、資料の3ページ目にありますように、昨シーズンは延べ14名、27レッスンの受講がありました。リピーターが多かった事は、スクールでの指導内容、サポート体勢を評価していただいた結果と考えております。受講生からの感想文としてまとめた1枚目、2枚目も大変嬉しい言葉でした。ぜひ目を通してください。こちらは、昨年度の奉仕委員である佐藤様が視察に来て頂いた写真です。風も強く、湿った雪であいにくの天候でしたが、障害者スキーの可能性を感じてもらえたかと思っています。

みなさまは全世界にスキー場がいくつあるかご存知でしょうか？実は私もいくつあるか知らず、

いろいろと検索しました。国土交通省の観光庁のサイトに、海外スキー場調査という資料を見つけました。その中に2014年度インターナショナルリゾート オン スノー アンド マウンテン ツーリズムという資料がありまして、その情報によると、世界には5,166箇所スキー場があります。そのうち、日本には547箇所。実に全世界の1割以上のスキー場があります。しかし、私のところへかかってくる電話では、いくつものスキースクールに電話をしたが、どこも障害があるという断られる。本当に障害者でも受け入れてくれるのですか？と言われます。身体や知的の障害を取り除く事はできません。しかし、環境の障害を取り除く事はできます。身体や知的の障害があっても環境さえ整えればスキーはできます。海外では、いくつのスキー場で障害者受け入れ環境が整っているのか分かりませんが、すくなくとも日本では障害者スキー後進国なのではないかと考えています。

障害者スキー振興協会は、このようなスキースクールを、全国に広げていきます。今シーズンからは長野県志賀高原にあるスキースクールでも受け入れ準備を進めていきます。目標は、北海道・東北・北信越、北陸・近畿、山陰地方など、主要なスキー場に提携スキースクールを拡大する事です。夢は遠いですが、いつかこのスキー場でも、このような笑顔を見る事ができるよう、これからも頑張っていきます。

以上で私の話を終わります。ご静聴、大変感謝しております。ありがとうございました。

## ロータリーの目的

リーダー:

榎本貞寿 会員



## 4つのテスト

リーダー:

矢尾喜三郎 会員

